

ただ今、修了証をみなさんの代表者を通じてお渡ししました。この終了証は、ただ、1年が経てばもらえるものでは、ありません。学年主任を中心とした学年の先生方が、みなさんの1年間の学習の様子をきちんと把握し、自信をもって進級させたい、あるいは、いろいろな事情があったとしても、今後の成長を信じて「進級をお願いしたい。」と報告された内容について、職員全員で十分に吟味し、教職員全員の意見を聞いて、校長としての責任の下、進級を許可したものです。

ですから、終了証には1学年の課程を修了したことを証すると記載されています。これらのことをふまえてみなさんに伝えます。「進級おめでとう！」

これは、当たり前のことではありません。多くのみなさんが進学を希望している高等学校では、1年間に取得する単位というものがあり、それをきちんと取らないと進級、そして、卒業できません。大学ではもっとその審査が厳しくなります。単位というのは、一定期間、授業や学習をすすめ、試験で一定の基準を満たしたときに合格となることで単位が与えられます。そのことを、十分にみなさんは理解したうえで、今一度終了証を手にとって見てみてください。

さて、この掲示板が正面玄関に掲げられていたのは知っていますか？これは、令和7年度が始まる時に掲げた目標です。修了式にあたり、この目標が達成できたか振り返ってみたいと思います。これらも踏まえてみなさんは、この1年間、終了証を手にするにふさわしい取り組みができたでしょうか？今一度、振り返っててください。もし、反省する点があれば、まだまだ、挽回できる可能性があります。令和8年度では、自分自身納得できる取り組みをしてください。

さて、先週行われた卒業式、とってもしばらしかったです。そして、本当に感動しました。何が、卒業式に感動を呼ぶか、みなさんは自覚がありますか？卒業生が素晴らしいだけでは、本当の感動的な卒業式にはならないのです。1、2年生のみなさんの歌声、そして、起立や礼、姿勢のどれをとってもその所作に心がこもった本気の姿がみられました。さらに、卒業式前の予餞会、1年生、2年生の多くの生徒が頑張ってくれました。いろいろ衝突もあったでしょう、納得いかないこともあったでしょう、それでも力を合わせて3年生のために力を発揮してくれました。また、角送りでのエール交換、熱い思いをお互いに伝え合う、感動的なものでした。みなさんは、やっぱり「やればできる！」「そして、南砺市のどの学校にも負けない力をもっている！」と胸を張って言えます。来年度が本当に楽しみです。

来年度に向けて、いまほどみなさんに伝えた、「やればできる」という言葉について考えてみます。よく人は「やればできる」という言葉を使います。それは、多くは励ましや賞賛の意味で使われます。「やればできるね！すごい！」という具合です。ここで、強く訴えたいのは、「やればできる」ことでも「やらなければできない」ということです。あたりまえですよ？やれば・・・という多くの場合は、やることが面倒くさかったり、大変だったり、辛かったり、努力が必要だったりすることが多いのですが、この「やればできる」ことをきちんとやり続けることが、みなさんの成長につながります。

さらに私は、常々、「本気でやらねば・・・」「心を燃やせ」と話をしてきました。人生は長いようで短いです。みなさんは、自分を高めるために、本気を出していますか？いつ、何に全力で取り組み、自分の命を輝かせたいと思いますか？今やっていることに満足していますか？そんなことを是非、考えてみてください。

鬼滅の刃に出てくる「常注」という言葉を知っていますか？主人公である炭次郎、善一、いのすけたちが、稽古を進めていくときに、「全集中の呼吸」を常にできるようにすることで、次のステップにレベルアップできると教わり、努力する場面があります。ときどき、全集中の呼吸で大きな技を發揮したとしても、それは一時的なもの、あたりまえのレベルを上げることによって次の本気のレベルがあがる・・・これは、アニメの世界の話ですが、アニメの世界の題材になっているのは、このことが、このリアルな世界の学びや修行・修練の場でも、大切なことだからです。「やればできた」の状態をあたりまえにして、次の「やればできる」のレベルをあげることがみなさんの成長につながります。

もう、今、限界です・・・というほど頑張っている人もいるかもしれません。しかし、よく考えたら、なんとなく日々を過ごしているという人もいるかもしれません。この春休みには、是非、この一年間を振り返り、これで、自分の取り組み方や生き方はいいのだろうか？令和8年度、新年度を迎えた自分は、どんな自分でありたいのかということを考え、明確な目標をもって、スタートしてください。

4月から、1年生は先輩に、2年生は最上級生になります。明日からの春休みは、それぞれ考えて、新年度の準備をしてください。繰り返し言いますが、「命」を含め「自分」を、そして「周りの人」を大事に過ごしてもらいたいです。それぞれ心配なこともあるかもしれませんが、4月にみなさんの少し成長した元気な姿に会えることを楽しみに待っています。